事務事業評価シート　平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

所管課	商工観光課	担当班	労政工業班

事務事業名	コード	27700	工業振興支援事業	予算科目	会計	款	項	目
					一般	7	1	2

施策体系						
基本施策	2	商工業の振興	根拠法令	特になし		
施策の展開	5	工業の振興	戦略事業	29	工業振興支援事業	
施策の展開			戦略事業			

事業種別
- ☑ 主な事業
- ☐ 国土強靭化地域計画
- ☐ 新市建設計画
- ☐ 定住自立圏構想
- ☐ 主要事業

(1)事務事業の概要

① 事務事業の期間
- ☑ 単年度繰返
  - ☑ 平成 17 年度～
  - ☐ 開始年度不詳
- ☐ 期間限定複数年度
  - 平成 ___ 年度～
  - 平成 ___ 年度まで

② 事務事業の内容　※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない

工業団地内の立地企業が良好な環境で事業を行えるよう主に下記事務を行う
【立地企業相談対応】周辺地域と調和した良好な生産環境を整えることで、既存工業の振興を図るため、企業からの相談に対する体制の充実させるとともに、工業関係団体の育成として共同管理事業や福利厚生事業及び社会貢献事業への支援を行なう。鎌数工業団地内の有害鳥獣駆除　毎週日曜日実施 【維持管理費支払い事務】さくら台工業団地に係る干潟土地改良区への排水負担金、鎌数工業団地連絡協議会への排水施設維持管理負担金

③事務事業開始の経緯・事務事業の現状

工業関係団体への支援は、工業団地の排水施設の維持管理や排水に係る維持管理について、負担を行なっている。また、工業団地周辺の環境整備のため有害鳥獣の駆除を行う。

④事務事業に関する課題・環境の変化

工業団地に係る経費については、主に旭市土地開発公社で行なっていたが、公社解散により市が直接行なうこととなった。

⑤事務事業に対する住民からの意見等

有害鳥獣駆除について、企業からの要請により平成25年度から近隣住民への周知を徹底を行なったうえで、実施している。

(2)コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(27年度の決算)　単位:千円

1.負担金補助及び交付金	1,655	干潟土地改良区排水負担金、工業団地連絡協議会排水施設維持管理負担金
2.委託料	1,390	樹木剪定等委託料、害虫等駆除委託料、看板書替委託料
3.工事請負費	779	工業団地関連土地整地工事費
4.役務費	48	害虫等駆除関係保険料
5.その他	234	害虫駆除等関係消耗品費

② 特定財源の内訳(27年度の決算)　単位:千円

1.国庫支出金	0	
2.都道府県支出金	0	
3.地方債	0	
4.その他	0	

前年度増減理由	有害鳥獣駆除経費の増加及び工業団地関連の土地整地工事による

			単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
事業費	費目内訳	1. 負担金補助及び交付金	千円	1,000	1,000	1,342	1,655	1,810
		2. 委託料	千円	488	842	1,092	1,390	1,236
		3. 工事請負費	千円				779	
		4. 役務費	千円		38	45	48	46
		5. その他	千円		4	17	234	18
	事業費計 (A)		千円	1,488	1,884	2,496	4,106	3,110
	財源	1. 国庫支出金	千円					
		2. 都道府県支出金	千円					
		3. 地方債	千円					
		4. その他	千円					
		5. 一般財源	千円	1,488	1,884	2,496	4,106	3,110

従事職員数	常時	1 人	最大	2 人 ×	36 日 =	延べ	72 人

(3)事務事業の手段・目的と対応する指標

手段

① 主な活動

27年度実績(27年度に行った主な活動)

干潟土地改良区負担金、工業団地連絡協議会負担金
工業団地関連土地整地工事費
有害鳥獣駆除　毎週日曜日実施
工業団地内施設除草業務

	③ 活動指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
ア	有害鳥獣駆除実施回数	回	―	30	37	38	39
イ	イベント等でのPR活動回数(再掲:企業誘致促進事業)	回	0	0	0	0	1

目的

② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)

対象	工業団地内企業
意図	快適に操業できる(生産環境に係る苦情・相談がなくなる)
対象	
意図	

	④ 成果指標名	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
ア	立地企業からの苦情件数	件	1	0	13	15	13
イ	工場等の新設又は拡充を行った企業(再掲:企業誘致促進事業)	件	6	6	8	7	7

(4)事務事業優先度評価の結果

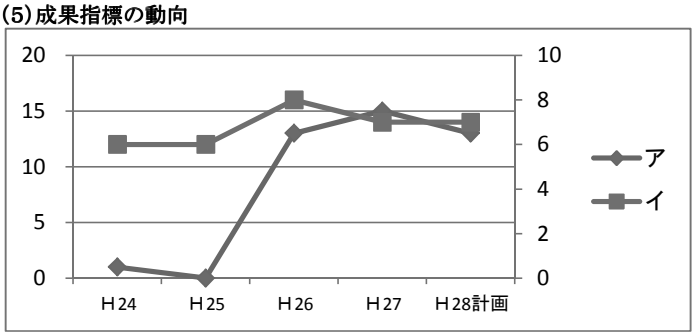
①成果優先度評価結果

		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通			⑦
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果

		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度評価結果	①			
	②③			
	④⑤⑥			
	⑦⑧⑨	(7)		

(5)成果指標の動向



(6)事務事業に関する評価

評価内容

① 進捗状況　☐ 完了　☐ 順調　☑ 概ね順調　☐ 停滞　☐ 実施困難

【コメント】(停滞・実施困難の場合、その理由)

② 成果の状況

成果指標ア	成果指標のタイプ	↘	数値減＝成果向上	☐ 向上	☑ 横ばい	☐ 低下
成果指標イ		↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☑ 低下

【コメント】(低下の場合、その理由)

企業誘致した企業より申請がなかったため

成果動向

比較	23年度 24年度	24年度 25年度	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28計画
ア	△ 1	△ 1	13	2	△ 2
イ	0	0	2	△ 1	0

③ 今年度取組事項(今年度新たに取り組む事項について記載)

時期	内容
7月	有害鳥獣の駆除羽数の減少により、実施回数を減らし経費の縮減を行なう。

今後の方向性
- ☐ 拡大　☐ 現状維持　☐ 見直し
- ☑ 縮小　☐ 廃止・休止　☐ その他 (　　)

平成29年6月　有害鳥獣の経費削減をさらに行なっていく。